

平成28年西東京市教育委員会第10回定例会会議録

- 1 日 時 平成28年10月25日（火）
開会 午後2時01分 閉会 午後3時18分
- 2 場 所 保谷庁舎3階 第2会議室
- 3 付議事件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 教 育 長 前 田 哲
教 育 長 職 務 代 理 者 宮 田 清 藏
委 員 森 本 寛 子
委 員 高 橋 ますみ
委 員 米 森 修 一
委 員 木 村 俊 二
- 5 出席職員 教 育 部 長 手 塚 光 利
教 育 部 特 命 担 当 部 長 南 里 由 美 子
教 育 企 画 課 長 早 川 礼 成
教 育 部 副 参 与 兼 学 校 運 営 課 長 等 々 力 優
教 育 指 導 課 長 田 中 稔
統 括 指 導 主 事 西 川 幸 延
統 括 指 導 主 事 福 田 忠 春
指 導 主 事 田 村 孝 夫
教 育 部 副 参 与 兼 教 育 支 援 課 長 渡 部 昭 司
社 会 教 育 課 長 岡 本 範 子
公 民 館 長 大 橋 一 浩
教 育 部 副 参 与 兼 図 書 館 長 奈 良 登 喜 江
- 6 事務局 教 育 企 画 課 企 画 調 整 係 長 倉 本 直 子
教 育 企 画 課 企 画 調 整 係 主 査 和 田 克 弘
- 7 傍聴人 1人

平成28年西東京市教育委員会第10回定例会議事日程

日 時 平成28年10月25日（火）午後2時から

場 所 保谷庁舎3階 第2会議室

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第38号 西東京市教育委員会の職員の人事についての専決処分について
- 第 3 議案第39号 西東京市文化財保護審議会への諮問について
- 第 4 報 告 事 項
 - (1) 平成28年西東京市議会第3回定例会報告（教育関係）
 - (2) 中原小学校建替基本プラン
 - (3) 西東京市公立学校職員に関する処分について
 - (4) 平成28年度 全国学力・学習状況調査報告
- 第 5 そ の 他

西東京市教育委員会会議録

平成28年第10回定例会

(10月25日)

午 後 2 時 01 分 開 会

議事の経過

○前田教育長 ただいまから平成28年西東京市教育委員会第10回定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。本日は高橋委員にお願いしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○前田教育長 それでは、本日は高橋委員にお願いいたします。

○前田教育長 次に、秘密会にて取り扱う議題を決定したいと思います。

日程第4 報告事項(3) 西東京市公立学校職員に関する処分については、個人情報に関する案件であることから、西東京市教育委員会会議規則第13条第1項ただし書きの規定に基づきまして会議を秘密会とし、日程第5 その他の後に開催したいと思います。御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○前田教育長 御異議ないようですので、ただいまの案件につきましては秘密会にて取り扱うことと決定いたしました。

○前田教育長 日程第2 議案第38号 西東京市教育委員会の職員の人事についての専決処分について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○手塚教育部長 議案第38号 西東京市教育委員会の職員の人事についての専決処分についての提案理由を説明申し上げます。

本議案につきましては、平成28年10月1日付の人事異動に伴う教育委員会の職員の人事について、緊急を要し、教育委員会を招集する時間的余裕がないため、西東京市教育委員会事務委任規則第5条の規定により専決処分をしたため、同規則第6条の規定に基づき報告を行うものでございます。

恐れ入りますが、2枚の専決処分書を御覧いただきたいと思っております。

教育委員会の異動及び市長部局への出向に関するものでございます。

異動の内容につきましては、表の部分を御覧いただきたいと思っております。

東京都総務部副主幹の深谷俊一が学校運営課副主幹施設係になるほか、4名が異動となります。

また、学校運営課施設係の黒田誠が市長部局へ出向となります。

以上、職員の人事についての説明とさせていただきます。

○前田教育長 説明が終わりました。質疑を受けます。質疑を終結します。

人事に関する案件ですので、討論を省略いたします。

これより議案第38号 西東京市教育委員会の職員の人事について、を採決いたします。原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

全員賛成。よって、本議案は原案のとおり承認されました。

○前田教育長 日程第3 議案第39号 西東京市文化財保護審議会への諮問について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○岡本社会教育課長 議案第39号 西東京市文化財保護審議会への諮問について、を説明申し上げます。

恐れ入りますが、1枚おめくりください。

西東京市では、平成22年度から市内の歴史的建造物の調査を実施しており、その結果を調査報告書等に取りまとめております。

北町に所在いたします天神社につきましては、当該調査において文化財的価値がある建造物として取り扱われていたところでございます。

西東京市文化財保護条例第4条の規定では、市にとって重要な文化財を西東京市文化財に指定できることを定めており、このたび、天神社の拝殿を指定文化財として保存していくため、同条例第6条の規定により西東京市文化財保護審議会に諮問するものでございます。

天神社の拝殿でございますが、参考資料を御覧ください。

正面と側面がそれぞれ3間の建物となっております。

構造は、神社仏閣等によく見られる入母屋づくりとなっております。

また、拝殿の正面ですが、唐破風と呼ばれる曲線を使った構造をなしております。

この拝殿の建築時期といたしましては、礎石に刻まれた年号から、江戸後期（天保5年）に建立されたことが明らかとなっております。

この天神社は、かつて「番神様」と呼ばれ、古くから地域の人々の心の支えとされてきたものですが、この三十番神信仰が明治になって禁じられた後も下保谷村の鎮守として今日に至っており、地域の歴史文化を知るためには欠かせない文化財でございます。

また、四方上部の壁には、幕末から明治期に最も盛んになったこて絵により龍や波が描かれておりまして、当時の人々が豊穡や吉祥、火伏せなどを願ったことがうかがえるものでございます。

この拝殿に施されたこて絵は、市内では他に例を見ないものであり、意匠的にも優れているものであり、貴重な文化財であるということで、このたび西東京市文化財として指定をする諮問を議案として上げさせていただいたものでございます。

説明は以上でございます。

○前田教育長 説明が終わりました。質疑を受けます。質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論を終結します。

これより議案第39号 西東京市文化財保護審議会への諮問について、を採決いたします。原案に賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

全員賛成。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

○前田教育長 日程第4 報告事項に入ります。

初めに、平成28年西東京市議会第3回定例会報告（教育関係）について報告をお願いします。

○手塚教育部長 それでは、平成28年市議会第3回定例会に関しまして報告をいたします。

平成28年市議会第3回定例会は、9月2日から10月4日まで開催をされました。

初めに、条例その他の付議案件につきましては、今回、教育委員会関係はございませんでした。

陳情につきましては、中学校固定学級への支援員配置に関する陳情が趣旨採択となり、3館合築に関する陳情、3館合築複合化案に関する陳情、中央図書館・田無公民館を現在の場所に存続させることの陳情、3館合築複合化に関する陳情、西東京市合築複合化にかかわる陳情、3館合築の棚上げに関する陳情が、それぞれ継続審査となっております。請願につきましては、田無公民館・中央図書館の市民会館への合築複合化案に関する請願が継続審査となりました。

続きまして、一般質問でございますが、9月5日から8日までの4日間行われました。教育関係では6会派、18名の議員から御質問があったものでございます。

主な内容でございますが、今回の定例会では、小学校通学路防犯カメラについてやオリンピック・パラリンピック教育について、一人ひとりを大切にする教育について、下野谷遺跡についてなどの質問をいただいております。詳細につきましては、後ほどお手元の資料を御参照願いたいと思います。

以上、簡単ではございますが、報告とさせていただきます。

○前田教育長 説明が終わりました。質疑を受けます。

○森本委員 まず、防犯カメラのほうなんですけれども、今まだ検討中の段階なんですか。今どのあたりまで進んでいるのかというのを教えていただけますか。

○早川教育企画課長 防犯カメラについては、今年度、2月頃までをめどに具体的に設置をしていきたいというふうに考えております。

今、事業としてこれから行う部分につきましては、来月、11月に入りまして、4回市民説明会を行う予定としております。その市民説明会を経て、具体的に設置する電信柱などを特定していきます。その特定の段階で映像が映り込む地域の方々の同意をいただいて、その後に具体的に機材の設置という流れになってございます。

今年度、当初9校、要するに2年かけて18校というふうに予定しておりましたが、今年度、11校、2校をプラスして事業を進めていくことができることとなりました。

○森本委員 4回の市民説明会というのは、それぞれの学校に対して4回ということですか、それとも全市的に4回という話なんですか。

○早川教育企画課長 説明会の手法につきましては、田無庁舎、保谷庁舎、ふれあいセンター、谷戸小学校の4箇所で開催しようと思っております。それぞれのエリアに関係する、近隣の小学校もしくは地域の方に集まっていただくような周知の方法をしていきたいと考えております。

○宮田委員 これはあれですか、お子さん、保護者の方々だけに知らせるんですか。普通、老齢の家庭とか、たくさんあるので、どうやってそれを知らせて、どういうふうな了解を得るのかというのはよく考えておかないと、設置が何か難しくなっちゃうような気がするんです。

が、いかがでしょうか。

○前田教育長 具体的な防犯カメラの設置場所ということですよ。

○宮田委員 そう。

○前田教育長 そこはもしできたら丁寧に説明していただけるとありがたいです。

○早川教育企画課長 まず、周知の方法ですけれども、説明会につきましては、市のホームページ、それからツイッター、フェイスブック、あと広報紙、これらを使って全市的に説明会の開催を広報してまいります。

その上で、説明会では、まず、今、学校と地域の方々から、どのあたりに設置するかということについては、一番そこに住んでいる方々の肌身の感覚で危険と思われるところを七、八箇所いただいています。そのいただいている場所というのは、まだこのポイントということではなくて、このあたりの道路という形で情報をいただいております。その道路のあたりを今回設置していく予定でございますということを説明会のほうで地域の方々にお示しをした上で、さらに、今後、そのエリアの中から具体的にポイントを絞って、設置に向けて近隣の方々の同意をいただいこうということを説明していく予定でございます。

○宮田委員 誰が見るんですか、それは。その辺によって、あの人に見られるんだったら私は嫌だとか、きっと個別的だからすごくあるんじゃないかと思うんですけれども。

○早川教育企画課長 今回通学路に設置する、1校5台ですけれども、この防犯カメラについては、学校の校長室にあるようなモニター監視型のカメラではございません。基本的に映像を記録媒体で中に保管する形になっております。この映像を見ることが可能な場面といたしましては、そのカメラの映るエリアで犯罪が起こったときに、警察など捜査機関からの照会があったときのみ提供するという原則というふうに考えております。ですので、一般の方がその中の記録を見たりするという場面は想定しておりません。

○宮田委員 是非それを強調して、事故が起らない限りはどなたも見ないことを説明しないと、何か校長先生が見たり学校関係者が見たりするのかしらとか思うと思うので、その辺、注意深くお願いします。

○早川教育企画課長 その部分を丁寧に説明してまいりたいと思います。

○森本委員 子どもの貧困対策についての就学援助制度についてなんですけれども、これは意見としては、申請受付が4月からなので、一旦とりあえずどんな人も払わなければいけないという状況にあるのを何とかできないかというような御質問ということなんでしょうか。

○早川教育企画課長 今、委員がおっしゃったとおり、新年度に入ってから申請、そして、その後、6、7月にかけて認定、支給という作業に入っております。この部分を前の年度にできないのかという、そういったところが主訴でございます。

○森本委員 それはできないんですか。どうなんですか。

○早川教育企画課長 こちらにつきましては、御質問を受けまして、これから既に取り組んでいる自治体などの手法、こういった部分を研究してまいりますということでお答えをしております。

○森本委員 もしやっている自治体があるのであればできるということだと思ってしまうので、速やかにやっていただいたほうがいいのではないかと思いますので、できるだけ急いでやっていた

だきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

- 米森委員 下野谷遺跡のデジタルコンテンツですけれども、これは予算の執行の関係もあると思うんですけれども、予定ですね。今、原案を協議・調整ということをされていますけれども、どのようなタイムスケジュール、いつぐらいに完成か教えていただけますか。楽しみにしているんですけれども。
- 岡本社会教育課長 デジタルコンテンツについては、現在、どのようなシナリオになるかということを実業者と、市で調整しております。そのシナリオに基づいてコンテンツ自体を作成します。こもればホールで実施する、12月11日の私どものシンポジウムでまず概要的なものをお披露目させていただき、実際の作成は2月、3月頃を予定しております。
- 宮田委員 それで、たしか予算を拝見したときかなり高価だったという記憶があるんですが、そのとき私が言ったと思うんですが、有効利用しないと、作ったはいいけれども、誰も見ないということが起こり得るのではないかというので、どうやって皆さんというか、特に子どもたちが一つ学校教育の中であるんじゃないかと思いますが、有効利用促進を図ろうとされているんでしょうか。
- 岡本社会教育課長 多くの方に御利用いただきたいと思っております、ソフトの部分を作るときには、学校教育にも使っていただけるような部分を組み込む形で実業者に依頼しております。
学校教育の中で使っていただくとともに、社会教育、あるいは市長部局の生涯学習事業を実施しているところで使っていただくこと。また、ホームページやスマートフォンで見られることなども工夫しまして、まずは概要を見られる、それから実際にその場所に足を運んでいただくなりして御利用いただけることを考えております。
- 宮田委員 今はやりのポケモンGOなんかと一緒に、そういうコンテンツを入れて、そこへ行くとたくさんいるとか、何かそういう時流も含めたことをやっていただけると、すごくせっかく高いお金を出して買った部分が野っ原のまま誰も人がいないということがないように、勉強しながらそういう一種のゲーム感覚も楽しめるというようなアイデアはいかがかと、そういうこともちょっと検討してみたいんですが。
- 岡本社会教育課長 ポケモンGOにつきましては、東伏見の駅から下野谷遺跡に至るまでの間に幾つかいるというお話を聞いたことがありますけれども、御近所の方からは、知らない方が入ってくるということは、プラスの面もある一方、ちょっと安心もできないという声もいただいております、そういった両側面をふまえてまいりたいと思います。
- 木村委員 関連していいですか。学校での利用についてなんですけれども、今、プログラムの原案を協議・調整されているということなんです、例えば小学校、中学校の社会科の歴史の授業ですね、どういう場面で、どのように活用できるかというあたりについてもかなり検討はされているのかということと、それから、この検討の作業の中に、教員とか、校長先生だとか、そういう方は入っていらっしゃるかどうかについて、もしわかれば教えていただきたい。
- 岡本社会教育課長 この実業者を選定するときに、指導課長からアドバイス等をいただいております。ただ、実際のプログラムを作成するのに当たっては、小学校、中学校の先生方の

御意見はいただいております。ちょっとまだ固まらない段階のもので、少し形ができてまいりましたら御意見等をいただきたいと考えております。

- 木村委員 是非、せつかく作られるのでね、例えば学校に配信していただいて、ビデオでもCDでも何でもいいんですけれども、学校の教室の中で見られるような、そういうものになるといいというのが希望としてお願いしたいと思います。
 - 森本委員 泉小学校跡地の開放事業が、思ったより7月などはたくさんの方が利用されていたんだというふうに感じて、また、平日の開放の要望もあるということで、今後検討していくということなんですけれども、泉小全体の跡地活用については、もう決まっているのでしょうか。全く決まっていないのであれば、私としては体育館についても開放してもいいんじゃないかと思うんですけれども、その辺はどうなんでしょうか。
 - 等々力学校運営課長 泉小学校の跡地活用につきましては、現在、市長部局で活用方法について検討しております。来年早々ぐらいには活用の方針を出せるのではないかなというような話を聞いているところでございます。その辺の話を見ながら、進捗を見ながら、跡地活用というか、暫定開放についてもそれに合わせた形で考えていければなとは思っております。
 - 森本委員 できれば、具体的に決まっていないのであれば、使ったほうがあのまま置いて朽ちていくよりはいいのかなと思いますので、使える方向で考えていただけたらなと思いますので、よろしくをお願いします。
 - 高橋委員 ここに上がっていない質問なんですけれども、私からの質問ということでちょっとお聞きしたいことがあるんですけれども、いいですか。それはその他のほうがいいですか。わかりました。
 - 前田教育長 ほかに質疑はございませんか。質疑を終結します。
- 次に、中原小学校建替基本プランについて報告をお願いします。
- 早川教育企画課長 それでは、西東京市立中原小学校建替協議会から出されました中原小学校建替基本プランについて、協議の経過と協議内容について最初に教育企画課から報告をいたします。

お手元の資料を御覧ください。

1枚おめくりいただきまして、目次を御覧ください。本プランは、本編と、それから9ページ以降の資料に分かれております。私からは資料に基づきまして説明いたします。

まず、11ページをお開きください。こちらは中原小学校建替協議会の委員名簿でございます。本協議会は平成27年度に設置いたしました。中原小学校長を会長といたしまして、学識経験者、児童の保護者、地域の方々のほか、今後建替え後の中原小学校へ就学予定である地域の保育園、幼稚園の園児の保護者により構成しております。

1枚おめくりいただきまして、検討経過でございます。昨年度は平成28年2月に実施いたしました第5回の会議まで開催いたしました。主な協議内容としては、建替校の将来像について検討いたしまして、中原小のよいところ、残したいところ、改善したいところなどをテーマに意見交換を行いました。また、建替えの参考となる小学校の視察などを行いました。今年度は第6回から9回まで計4回開催し、昨年度の検討内容を踏まえ、基本プランについて協議を進めてまいりました。その協議結果がこちらでございます。

次に、学校運営課から図面の説明をさせていただきます。

○等々力学校運営課長 続きまして、学校運営課から説明させていただきます。

恐れ入りますが、2ページ、中原小学校の建替えに関する基本的な考え方を御覧ください。1といたしまして、費用対効果に配慮した適正な規模の学校整備を行うということ、2番目といたしまして、西東京市における学校施設の建替えのモデルケースとなること、それから次のページでございます3番目としましては、長期的な視点に基づく建替えをすることを基本的な考え方としているところでございます。

続きまして、4ページを御覧ください。建替コンセプトについてでございます。一番上の3行の建替コンセプトについての説明でございますが、その2行目でございます。変わりゆく時代の教育環境に柔軟に対応ができ、地域に愛され、地域の核として機能する学校を目指すということで、建替コンセプトについて建替協議会の中で検討をしていただいたところでございます。テーマといたしましては、「学びの場」「自然環境」「安全・安心」「地域との関わり」「生活の場」という五つの柱から、「“いろどり”ある学びの丘」といたしました。一人ひとりの個性やさまざまな学習に対応する多彩なイメージシンボルとしての中原小学校をあらわすということにしております。

1枚おめくりください。配置計画でございます。建替協議会では、校庭が広く有効活用できること、また整形の使いやすい校庭であること、それから近隣住民への配慮などからL字型の配置としたものでございます。

1枚おめくりください。平面計画でございます。こちらにつきましても、教育環境や周辺との関係性などから、こちらの本平面計画としたものでございます。こちらのほうは、教室等の配置につきまして、七つのゾーン分けとしてお示しをしております。本平面計画では4階建ての計画としております。4階部分につきましてはプール施設としてございます。ゾーンの色分けといたしましては、ピンク色を普通教室ゾーン、赤色を理科室や美術室、音楽室などの特別教室ゾーンなど、七つの色のゾーン分けとしております。このたび建替えを計画する際に、周辺状況を考慮し、新たな施設としては、学童クラブを1階に配置することを計画してございます。また、特別支援学級を1階に計画をし、屋内運動場を給食室の上の2階に配置をしております。グラウンドをできるだけ整形にし、活用しやすい形にし、普通教室及び職員室などの管理諸室をグラウンドが見渡せるように配置をして、学校の管理がしやすいといったことが主な特徴でございます。

次の7ページ以降につきましては、現況についての概要と、それから資料でございますので、後ほど御覧いただければと思います。

今後は本プランに基づき基本設計を進めてまいりたいと考えております。

簡単ではございますが、説明は以上でございます。

○前田教育長 説明が終わりました。質疑を受けます。

○米森委員 建替えの事例の場合に、今、先ほどもありましたけれども、小・中学校の大規模改修、増築など、国の補助金不採択ということで、なかなか補助金が入らないケースがありますけれども、建替えでそういうケース、あったら困ると思いますが、そういう財源という見通しというのはもう立っていましたでしょうか。教えていただければ。

- 等々力学校運営課長 建替えに伴う財源といたしましては、やはり今国のほうで不採択となっている学校施設環境改善交付金というものがございます。そちらについてもきちんとした手続をとって建替えとして交付をしていただけるように申請というか、計画書を適正に出していますので。ただ、もらえるかももらえないかにつきましては、現在のところ、はっきり申し上げられないんですが。あとは、負担金といたしまして、交付金とは別に、建替えについて該当した部分については、児童が増加した分とか、そういった教室増による負担金というものは、該当すれば出るというふうに考えています。
- 米森委員 建替費用とか、そういうのはまだ。実質的に細かなものはこれからですか。
- 等々力学校運営課長 そうです。これからですね。ただ、中原小学校につきましては、まだ建替えが、実際工事に入るのが31年度ですので、失礼しました、今私が申し上げたのは10中のほうの話でした。
- 米森委員 まだ先ですか。
- 等々力学校運営課長 まだ先の話になります。申請をまだしておりません。失礼いたしました。
- 前田教育長 よろしいですか。
- 米森委員 これからですね。
- 前田教育長 国の財政状況も厳しいので楽観はできないんですけれども、手続的には万全を期してしっかり国に対しての申請行為をしていきたいですし、それから、その該当となる補助金についてもちゃんと精査していきます。今申し上げたのは、負担金というのは、いわゆる義務教育の施設整備について、国の義務的経費として出る部分もあるんですが、ただ、それも非常に限られた条件になりますので、それに該当するかどうかも含めて、きちんと精査をかけて国のほうに申請をしていきたいと思っています。
- 木村委員 単純な質問なんですけど、スクールバス乗降場というのは、このスクールバスというのは何のためのスクールバスなのかなと思っているんですが、これはあれですか、特別支援学級なので、肢体不自由、車椅子とか、そういったことも関係するということ、そういうことですか。
- 等々力学校運営課長 スクールバスは、特別支援学級用のスクールバスということで、こちらの北側のほうにスクールバスの乗降場というんですか、そういったものと駐車場を設けるように計画しています。
- 木村委員 もう一つ、学童クラブが作られるということですが、今のいろいろな動向を見ると、待機児童問題やらいろいろあって、学童クラブの定員というんですかね、そのあたりについては、今後の見通しも含めて——時々聞くのが、学童の子どもたちが増えてしまって普通教室まで拡大しなきゃいけないようなことを区部なんかではよく聞くんですよ。その辺についての見通しやら計画をちょっとわかれば教えていただきたいと思うんですけれども。
- 等々力学校運営課長 これから児童青少年課等と調整をしながら、必要な部屋の面積とか、そういったものを確保していきたいと思っています。
- 高橋委員 この各ゾーンに分かれていて、屋内運動場もあって、とてもすてきな学校になるといいなと思うんですけれども、これからの学校には、今もそうなんですけれども、カウ

セリングルームというのがとても重要な役割を持つと思うんですね。今の学校のカウンセリングルームについてちょっと私もよく把握していないので申し訳ないんですけども、いずれ、将来的にはカウンセラーが常駐、毎日いるような状況になっていくんじゃないかなと私は思っているんですけども、そのカウンセリングルームについては何か特別に考えられていることとかありますか。

○等々力学校運営課長 現在、各小学校、教育相談室といったような部屋を確保しておりますので、この中で相談室についても管理諸室の中で検討していければと思っています。

○高橋委員 よろしくお願ひします。

○宮田委員 是非議事録にとどめていただきたくて言うんですけども、災害時のプールの水をトイレに利用できるような配管工事をするということを是非お願いしていただきたいと思ひます。

○等々力学校運営課長 今後、基本設計、実施設計の中で今おっしゃっていただいた件については検討してまいりたいと思ひております。

○前田教育長 ほかに質疑はございませぬか。質疑を終結します。

それでは、次に、平成28年度全国学力・学習状況調査報告について説明をお願いいたします。

○西川統括指導主事 それでは、私から、平成28年度全国学力・学習状況調査について説明させていただきます。

別紙となります平成28年度全国学力・学習状況調査についてを御覧ください。

1の調査の内容でございますが、4月19日に、小学校6年生と中学校3年生の全児童・生徒を対象として、国語、算数・数学の2教科及び質問紙調査を実施いたしました。

なお、国語、算数・数学では、主に知識に関する問題であるA問題と主に活用に関する問題であるB問題の2種類の問題を実施しております。

2の調査の目的につきましては、御覧いただいたとおりでございます。

3の調査の結果でございます。

(1)の表が小学校6年生の結果でございます。国語と算数の2教科それぞれで主に知識に関するA問題と主に活用に関するB問題について、全国、東京都、西東京市の平均正答率、さらに全国と東京都と西東京を比較した値を示しております。西東京市の正答率でございますが、国語Aは76.0%、国語Bは63.3%となり、全国比でプラス3.1%とプラス5.5%、東京都比でプラス2.2%とプラス3.5%となっております。算数Aは81.7%、算数Bは52.7%となり、全国比でプラス4.1%とプラス5.5%、東京都比でプラス2.3%とプラス2.9%となっております。

(2)の表が中学校3年生の結果でございます。西東京市の正答率でございますが、国語Aは78%、国語Bは69.9%となり、全国比でプラス2.4%とプラス3.4%、東京都比でプラス1.1%とプラス1.3%となっております。数学Aは64.9%、数学Bは46.2%となり、全国比でプラス2.7%とプラス2.1%、東京都比でプラス1.4%とプラス0.6%となっております。

(3)は、学校質問紙調査、生徒質問紙調査のうち、特徴的な内容をお示ししました。

初めに、小学校に関することです。算数授業において、より簡単に解く方法を考えたり、

考え方がわかるようノートを工夫したりしている児童が全国平均で5%高い状況でございます。

次に、中学校に関することです。学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動が全国平均より15%低い状況でございます。

最後に、小・中学校に関することです。小・中連携について、教科の接続や教科に関する共通の目標設定等の取組が全国平均より小学校が24%、中学校で10%低い状況でございます。

また、板書の説明の仕方、教材の工夫など、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫が全国平均で小学校が10%、中学校は20%低い状況でございます。

4の結果の考察といたしましては6点でございます。

1点目として、小中学校ともに全国平均率を上回っておりますが、学校ごとに見ると正答率が異なるため、各学校で本調査の結果を分析することが求められます。市全体では全国や東京都の分布とほぼ同様の結果となります。

恐れ入りますが、裏面を御覧ください。

こちらは各教科の合計正答数の分布を示しております。

例えば左上、小学校国語Aを御覧ください。小学校国語A問題は全部で15問あり、西東京市の正答数の分布は棒グラフで示したとおりとなります。また、全国の分布は四角の点で示した折れ線グラフ、東京都の分布は三角の点で示した折れ線グラフでございます。

御覧のように八つのグラフ全体は教科や学年によっては分布の様子が異なりますが、西東京市の分布の仕方は都、全国と比較して大きな違いは見られません。

恐れ入りますが、再度表面に戻っていただき、考察の続きを申し上げます。

2点目として、小学校では、国語、算数とも全国の平均正答率を上回る学校では、学級やグループの中で課題を立てて、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動が充実しております。

3点目として、中学校では、授業改善が課題であります。校内研修の実施回数が全国や東京都より下回っている傾向にあり、授業改善に視点を当てた校内研修の充実を図ることが必要です。

4点目として、調査のクロス集計において、小中学校ともに、授業以外の勉強時間が多い児童・生徒ほど学力調査の正答率が高いことから、補習学習等の充実を図ることが必要であることが考えられます。

5点目として、小・中学校ともに、小・中連携教育の実施状況において課題があるため、小中学校間の教科の接続や共通の目標設定など、義務教育9年間を見通した学習指導が必要であることが考えられます。

6点目として、今年度より質問項目の対象となった就学援助率の割合と各学校の学力調査の結果を比較しましたが、相関関係について顕著なものは見られませんでした。

5の今後の取組の方向性として4点でございます。

1点目として、各学校は課題を把握して授業改善推進プランに基づく授業改善が全校で実施されるよう、指導主事が本プランに基づいた指導・助言を行います。

2点目として、教科の専門性の高い教員等を集めた学力向上推進委員会の活動を一層推進

します。算数科においては、中学校の数学教員と連携を図り、東京ベーシック・ドリルの効果的な活用方法について効果検証を実施します。

3点目として、中学校区ごとの課題解決を図るための分科会を開催し、小・中連携教育の強化を図ります。

4点目として、各学校の課題に基づく夏季休業期間等を活用した補習教室等を6日以上実施し、学習内容等の一層の充実を図ります。特に中学校3年生段階で学びの積み残しが多い生徒に対して、高等学校入試を視野に入れた補習等の実施を行います。

以上で説明を終わります。

○前田教育長 説明が終わりました。質疑を受けます。

○森本委員 素朴な質問なんですけれども、質問紙調査のほうで、小・中連携について、共通目標の設定などの取組が低いとか、その後の特性に応じた指導上の工夫が全国平均より低いというのが出ているんですけれども、これは一体どんな質問でそれがわかるのか、どういう質問の結果こういうことが出ているのか、教えていただけますか。

○西川統括指導主事 学校質問紙の質問項目なのですが、小学校の場合ですと、前年度までに近隣等の中学校と教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定など教育課程に関する共通の取組を行いましたかという質問でこういう結果が出ています。

○森本委員 これは先生方に。

○西川統括指導主事 学校へ質問しました。

○森本委員 学校へのということですね。わかりました。

その次は、特性に応じた指導上の工夫というのは。

○西川統括指導主事 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに調査対象学年の生徒に対する授業の中で生徒の特性に応じた指導の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたかという質問です。

○森本委員 それをストレートに先生にお尋ねをして、先生がやっていませんというか、そんなにそこに力を入れていなかったという結果が出ているということではよろしいでしょうか。

○西川統括指導主事 学校の先生方というわけではなくて、学校で答えるということですので。

○宮田委員 校長さんが答えた。

○西川統括指導主事 管理職が答えているということになります。

○森本委員 その管理職の感覚として足りないのではないかというようなお答えをされたというこの結果ということですね。わかりました。

○宮田委員 今の関連なんですけど、私はこれをそのまま率直に受けると、あまり適切な教育はしていないけれども、子どもが頑張っって全国平均よりもやや高い値をとっていると、そういうふうには——これ、だって、例えば全国平均より24%低いとかってということが書いてあるわけですね。4分の1低いなんていうようなことであっても学力のほうはやや上回っているということで、それでよろしいんでしょうか。学校は大して努力はしていないと、特性に応じた教育もろくにしていないんだけど、個人が頑張っって、その結果、平均としていいと、そういうふうには捉えてよろしいんでしょうか、そういう質問。

○西川統括指導主事 この質問項目の考え方というのものもあるかと思うのですが、24%という

ころで、「特別支援教育について理解し、前年度までに」というような言葉が入っているんですが、そういったところを意識してしまったということも考えられるかなとは思いますが、ただ、結果としては、このように生徒に対する特性に応じた指導の工夫がされていないと学校は答えておりますので、そのあたりはこちらのほうで再度指導していかなくてはならないかなと考えております。

- 宮田委員 いや、だけど、結果がいいのはどうしてかという質問なんです、私の質問は。
- 西川統括指導主事 学校としましては、それぞれの教員に対して、授業等を管理職が見ながら、指導の向上について取り組んでいるところではあります。質問項目について、そのことを管理職の方々がかどこまで把握してこちらに答えたかということは答えることができないのですが、学校としましては、管理職の先生方は日々先生方の指導力の向上に努めている、その結果が出たのかなというふうに考えております。
- 宮田委員 塾なんかへ行っている子どもというのは何%ぐらいとか、そういうことは把握しているのでしょうか。いや、私は率直に言って、公教育のほうで十分フォローしていないとしたら、親が自衛のために塾等に通わせて結果として全国平均を上回るような結果を出しているのかどうか。もし出していたら、やはり相当私は問題で、先生一人ひとりに頑張っていたただかなくちゃいけないんじゃないかと思うんですけれども。
- 西川統括指導主事 今手元に塾にどこまで行っているかということは、申しわけありません、今データの中で見つけることができないのですが、塾は家庭のほうで考えることであると思いますが、学校としましては、そういったところ、なかなか学力のつかない子どもたちに対しましても補習授業などを行いながら積み残しのないように指導に努めているところでございます。
- 木村委員 今の宮田委員の御質問を私なりにちょっと考えていたんですが、これはむしろ、大変厳しいことをお話ししますが、市教委の指導が不十分だったと。つまり、小・中連携を意識した教育課程を組んだりということが不十分だったといったために、学校としてはその受け止めが弱かったという理解じゃないかなと僕は思ったんですね。だから、この下のほうの「特性に応じた」についても、特別支援教育を踏まえた教育課程を学校でそれぞれ工夫をしてやっているかどうか、そういう点ではちょっと弱かったなという反省をしたんじゃないかなと。
だから、学校としては小・中学校のそれぞれの学習指導についてはやっている、だから結果としては一定の成果を上げてきているけれども、まだまだ小・中連携を意識した教育だとか、特別支援教育を意識した教育がまだ不十分だったということを学校は答えたんじゃないかなというふうに私は理解したんですけれども、いかがですか。
- 西川統括指導主事 小・中連携教育につきましても、初めの段階は生活指導の連携ということが非常に重視されてやってきたかと思えます。生活指導の連携については随分なってきたところではありますので、学習指導のほうにつきましても小・中連携を、授業参観等を行いながら、そういった点でも連携を深められるように取り組んでまいりたいと考えております。
- 田中教育指導課長 もともとこの小・中連携教育の西東京市の成り立ちというものが中1ギ

ヤップ解消というようなどころから来ていまして、そういう意味では、今までは着実に生活指導にかかわっての連携は進めてきました。ところが、やはり学習指導についての連携は、生活指導よりはまだ弱いというのが学校の自己評価になります。その課題を、今御指摘いただきましたように、市教委としてどのようなフォローができるのか、支援ができるのかということについて今後考えていくということになります。

先日御覧になっていたいただいた三中とけやき小学校は、明らかに学習の面に重点を置いた研究を進めています。このように進めていただいているのも、ある意味では私たちの指導・助言の、この結果を予想した上でのアプローチになります。

これが小・中連携についてのお答えになります。

また、学習指導につきましては、例えば読書活動の実施率であるとか、そういうものについては、部分的には東京都のものよりもよいものもあります。

しかしながら、私たちがここで反省しなければならないのは、今、宮田委員から御指摘いただいた、果たしてこの学力の高さというものが家庭教育に起因するものなのか、あるいは学校教育を原因とするものかについては、さらに細かく見ていく必要があるということ。そして、学校はその課題に対して正対していただきたいというような強い思いを持っております。このところは、今回、教育委員会でお示しした後に、今週の校長役員会議でこのことを話題に先生方にディスカッションしていただくというように思っています。また、来週行います校長会議のほうでも、このことについてはお互い共通の課題として考えていこうと考えております。

まだまだ西東京市は授業改善の途中だと、一步も二歩も進めていくべきことだということ。を是非校長会との間に共通理解にしまして、まさに宮田委員からの御質問に対して、学校も頑張っていると、そして家庭のほうも頑張っていると。そして、そこからまたなかなか上がらない子に対しては個別的な指導をどういうようにしていくのかということも含めて、是非語り合っ、あるいはお互いをともに求めていく、そのようなアプローチにしていきたいなと思っております。

実はこのほかにもさらに細かなデータがたくさんあります。今回はそのあたりを訴えるために多少クローズアップできるところをお示ししていますが、今、宮田委員からいただいた御質問につきましても、次の機会に、こういうところが西東京市の高さを予想としてできる。ところを学校と調整したところだというような形でお示しできるように、私どもと学校とともに頑張っていきたいと思っております。

- 宮田委員 これを見ると、ものすごい伸びしろがね、逆説的に言うと。伸びしろがすごくあって、もうちょっとちゃんとやれば圧倒的によくなるんじゃないかと、逆説的ですけどね。この程度の努力でここまでいっているならば、逆説的に言えば、もうちょっと先生方が努力していただけたら圧倒的に優秀になる素質を持った児童が本市にはたくさんいるということ。をうかがわせるようにとれるんですけども、是非よろしくお願いします。
- 米森委員 相対的な都市間の比較は上なのでよろしいかと思うんですが、例えばこの問題の質で、B問題だと5割いかないですよ。質問が難しいからなのか、公教育でやっていればB問題でも6割以上はとれるはずだとか、何かそういう期待される数値というのは、相対的

比較じゃなくて、予想される、今までやってきたのをちゃんとやっていけばこれぐらいとれるというような、そういうのもあると思うんですけども、その水準というのはどれぐらいなんですかね。例えば免許だと、7割とれればまあいい、オーケーですと。B問題だと、例えば5割以上とれれば大体今までの学習内容をほぼフォローできていますねというのがわかるんだと思うんですよね。そういったあれでは見れないんですか。

- 西川統括指導主事 B問題に関しましては、出題の中で、正答率が低いとその次の年が少し簡単になるとか、実際にはございます。西東京市の算数のB問題ですと、26年度は63.5%、27年度で言いますと49.6%、今年度は52.7%といった違いが出てきております。大体5割というあたりがめどになりますが、年によって高かったり低かったりということではございます。
- 米森委員 大体5割程度を目安で問題も作られているんじゃないかなという予想はつくんですね。
- 宮田委員 Bは結局国語力の問題だと思うんですね。問題がよくわからないと回答ができませんのでね。そういう意味では、よく本を読ませたり、その読んだ意味を十分正しく捉えられるような国語力を、表現能力と言ってもいいかもしれませんが、そこを重点的にしたら数学でも理科でも応用問題がよくできるようになるんですね。そういうことで、是非校長先生にも分析した結果を明確にしてあげたらいかがかと思いますけれども。
- 西川統括指導主事 そのように校長先生たちにも伝えてまいります。
- 高橋委員 結果の考察についてなんですけれども、中学校の授業改善が課題というのはもう大分前から言われていると思うんですが、校内研修の実施回数が下回っている傾向という。でも、中学は本当に時間が、先生方お忙しくて——小学校もそうですけれども、特に部活動に当てたりとか、時間が本当に限られている中で、どうやって授業改善に視点を当てた校内研修の充実を図っていくんだらうと、本当にそれは効率的に図ることができるのだらうかというふうにも思うんですけれども、これは画期的な何か改善策みたいなものはあるんですか。
- 西川統括指導主事 中学校のほうですが、校内研修等を行っております。画期的なと言われるとなかなか難しいところはありますが、学校には、こういう結果であったということは次回の会議で説明させていただいて、より多く授業改善に向けた取組をしていくように伝えてまいりたいと思っております。
- 高橋委員 だから、その校内研修も数を増やせばいいというだけじゃないですよ。中身をいかに充実したものにしていくかということをもうちょっと考えていただければと思います。よろしくをお願いします。
- 西川統括指導主事 次期学習指導要領についてもそろそろ出てくると思いますので、そういったところをあわせた校内研修を図るように伝えてまいります。
- 前田教育長 ほかに質疑はございませんか。質疑を終結します。
- 等々力学校運営課長 先ほど一番最初の定例会の報告のときに泉小の跡地活用の時期について、来年早々企画政策課のほうから出るという話をさせていただきましたが、すみません、発言内容を訂正ということで、おおむね年度内に出すというふうなことで聞いておりますので、訂正をお願いしたいと思います。

○前田教育長 森本委員、よろしいですか。

○森本委員 はい。

○前田教育長 日程第5 その他、を議題といたします。教育委員会全般についての質問をお願いいたします。

○高橋委員 少し前、報道でもありましたけれども、青森市で自殺により8月に亡くなった中学2年生女子の写真がコンテストの賞で取り消されるという事件があったんですけれども、ちょっと私、調べてみたところ、中高生って大体毎年300人前後自殺で亡くなっているというデータがあって、中学生はどれぐらいなのかなと思って調べましたら、2015年には100人を超えちゃっていて、毎年増え続けているという。全体的な自殺者の数は減っている傾向にあるんだけど、中高生自体の数が減っている割に自殺者の数が減らないので、割合は増えちゃっているということだったんですね。

そういった状況、大変悲しい状況を鑑みて恐らく10年前に成立した自殺対策基本法なるものが、今年の2月に改正されて、来年の4月から施行されるというふうに伺っているんですけれども、その中に、何か特に教育について、心の健康を保つための子どもに向けての直接的な教育を進めていってほしいということが明記されているということだったんですね。これは今出たばかりなんですけれども、自殺予防教育というのは本当に難しいところがあるということも言われているし、準備は相当配慮しなければいけないということもありますけれども、西東京市教育委員会の中では、その自殺予防教育についての取り組み方について、何か考えているところ、またこれからどうやって進めていったらいいかというような方向性がありましたら、教えていただきたいんですけれども。

○福田統括指導主事 東京都教育委員会のほうでも、自殺予防教育に関しましては連絡会を開催したり、それから、9月の校長会議のほうでは自殺予防月間のことにつきまして周知させていただきました。そういった中で、各学校が適切に実施できるように教育委員会としても努めてまいりたいと思います。

○高橋委員 例えば特別の教科、道徳の準備とか、いじめ虐待のことにしてもいろいろやらなければいけないことがたくさんある中で、本当にこの自殺予防教育というのは、今までなかなか手がつけられなかった部分だと思うんですね。それをやっていくに当たっては、やはり相当な準備をしなければいけないと思いますので、かといって、やはりやっていかなければいけないということが決まってしまったので、そこは教育委員会のほうでも、この会議の場でもいろいろと話し合いながら進めていっていただければと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○前田教育長 国・都の動向もしっかりキャッチしながら考えていくということだと思います。

○宮田委員 昨日の日経新聞に出ていたんですけれども、給食費の未払いが特に大阪なんかでは非常に多いということで、また練馬区でもかなり多かったので、各学校の先生方に給食費を払わせるために努力をさせるのは非常に大変だということで、練馬区では区として給食費を全般的に徴収するというふうにした結果、数百万円回収ができたというような話が出ていました。昨日の、月曜日のをもう一回御覧になっていただければよろしいかと思いますが。

そういう面で、西東京市は給食を払わない人というのはどのぐらいおられるのでしょうか。

○前田教育長 学校運営課長、わかりますか。

○等々力学校運営課長 27年度、ちょっと人数ははっきりしないんですが、西東京市の給食費の滞納状況につきましては、収納率が99.96%、未納、金額で約20万弱になります。

未納額と収納率については以上でございます。

○宮田委員 大体20万円として、給食費というのは幾らぐらいなんですか。99.9%が20万円。すると、これを0.01で割ると、相当な額なんですね、給食費というのは。

○等々力学校運営課長 中学校は未納はございません。小学校だけですけれども、27年度の給食費全体ですと4億7,000万弱です。そのうち4億6千――。

○宮田委員 20万円、だから99.何%になるわけですね。大変意識が高い保護者がいて、市としてはある意味ではラッキーだと思います。ですが、もう一つ踏み込んで、これは各学校の先生方がものすごい努力をした結果そうなっているのか、そうじゃなくて皆さん保護者の方々が協力的で自動的に集まっているのか、その辺はいかがでしょうか。

○等々力学校運営課長 現実としては、栄養士ですとか、あとは学校の管理職、それから担任の先生、そういった方々の努力によるところは大きいというふうに考えております。

○宮田委員 それで、もしそれだったら、私はその結果すごく努力――まあ、どのぐらいの努力、例えば時間でどのぐらいやっているのか、ちょっと実態を調べていただいて、それがものすごく負担だったらば、やはり学校は教育に専念していただいて、こちら全体でやって、そして99.96%ぐらい、今までぐらいになるようにしてあげると、その部分が児童・生徒に割けるわけですよ、時間的に。ですから、その辺の実態を。結果的にはすごくいい、私は本市はいいと思っておりますけれども、先生方の過度の負担の上に成り立っているとしたら、それは改善してあげていただきたいと思います。

○等々力学校運営課長 実際は今委員おっしゃったように学校での負担というのは相当大きいのかなと思いますが、我々担当のところにも未納についての相談、そういったものも来ておりますので、こちらについては学校とともに、引き続き支援をしながら相談に乗って、学校の負担も減らしていければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○前田教育長 ちょっと給食費については、本市、非常に状況はいいんじゃないかと思うんですが、いずれにしても、ちょっと他市との比較の実証データをしっかり調べて、不納欠損の額なんかも含めて、あるタイミングで教育委員会で報告してもらってもいいかと思えます。

ただ、学校現場の負担については、いわゆる私費会計については、これは最近文科省のほうもいろいろな議論をする中で、先生方により教育に専念できるような環境という話はしているんですが、その辺の負担が本当に実態としてどうかというような議論もまた一方でありますので、そういうことを含めて、また国・都の動向も見ながら、そういった先生方の負担軽減の問題やそれに対する工夫の問題なんかについても少し議論を深めていきたいと思えますので、また機会があればお話しできればと思います。

ほかに質疑はございませんか。質疑を終結します。

以上でその他を終わります。

○前田教育長 日程第4 報告事項(3) 西東京市公立学校職員に関する処分についてですが、本件は個人情報に関する案件ですから、先ほど決定しましたとおり、西東京市教育委員会会議規則第13条第1項ただし書きの規定に基づきまして、会議を秘密会とさせていただきます。関係者以外の方の退室をお願いします。

では、暫時休憩いたします。

午 後 3 時 12 分 休 憩

午 後 3 時 18 分 再 開

○前田教育長 休憩を閉じまして会議を再開いたします。

以上をもちまして平成28年西東京市教育委員会第10回定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午 後 3 時 18 分 閉 会

西東京市教育委員会会議規則第29条の規定によりここに署名する。

西東京市教育委員会教育長

署 名 委 員